



地域医療支援病院 富山市民病院

発行日:2017年9月

富山市今泉北部町2-1 Tel:076 (422) 1112(代) <http://www.tch.toyama.toyama.jp>

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします。

診療科紹介

救急科 救急センターの紹介

急な腹痛は、富山市民病院 救急センターへ！

当院の救急科には、当院の消化器外科で長年勤務していた医師2人が常駐し、腹部疾患対応には院内連携も速やかに進むなど大きなメリットがあります。2次救急対応を基本としていますが、急性腹症に関しては、時間内の電話相談を含め、お気軽にご紹介いただきたいと思えます。急な腹痛は、ぜひ市民病院救急科への紹介を自薦いたします。

ブランドニュー トピック

Brand-new topic

急性腹症ガイドライン2015に於いて、『CQ92;以前より、急性腹症の診断前に筋痛剤(オピオイド)を投与することは誤診や過小評価の原因になると考えられ避ける傾向にありましたが、使用しても診断率の低下や予後不良にはつながらない(レベル1)。また、アセトアミノフェンにおいても疼痛を緩和し、診断率の低下や予後不良につながらない(レベル2)。』や『CQ105;原因にかかわらず診断前の早期のアセトアミノフェン1000mg静脈投与が推奨される(レベル1 推奨度A)以下略』等の記載があります。

かかりつけ医の先生方におかれましても急性腹症の対応として点滴開始や早期の鎮痛剤投与を積極的に行っていただいてもかまわないと考えられます。

《メンバー》

廣澤 久史救急診療部主任部長、野島 直巳救急科部長、舟坂 雅大医師、研修医複数名で診療を行っております。

救急センター看護師15名は、安全で良質な医療の提供のため、日々自己研鑽を積んでいます。たとえば、カテーテル治療のエキスパートIVR認定ナース2名、心疾患の予防を行なっていく心臓リハビリテーション指導士1名、外傷初期セミナー(JNTEC)のインストラクター1名、ICLSインストラクター2名、緊急度判定システム研修終了のトリアージナース8名、院内認定の救急エキスパートナース4名、認知症ケアに強いリエゾンナース、DMAT隊員として社会貢献できるナース、臓器移植コーディネーターなどなど。スタッフが相互に切磋琢磨しチーム医療への貢献に努めています。



前列左から 野島部長、廣澤主任部長、舟坂医師

後列左から 田中臨床研修医、青木臨床研修医、小野瀬臨床研修医、東海臨床研修医、稲垣臨床研修医、今臨床研修医

研修・講演・勉強会のご案内〈10月分〉



1. 地域連携・開放型病床症例検討会

日時：10月10日（火）19：00～20：15

場所：当院3階 講堂

- 1) ミニレクチャー『地域連携とチーム医療で守る糖尿病患者の足 ～富山市民病院フットケアネットワークについて～』
内分泌代謝内科 家城 恭彦

糖尿病や維持透析患者さんで、足病変の重症化により下肢切断となる人は、年間1万人以上とされています。しかしながら、実際の臨床現場では、必ずしも患者さんの足の状態を十分にチェックできていないのが実情です。下肢の切断が必要となる下肢壊疽は、靴ずれや小さなやけど、外傷など、ほんの些細なことから始まります。したがって、少しでも早期の段階で発見し、適切な処置を行う「フットケア」の重要性が近年叫ばれていますが、残念ながら組織立った実践は、これまで当院では行われてきませんでした。

こうした現状を踏まえ、当院ではこの10月より「フットケア外来」を開設します。また、医療から介護まで幅広いフットケアの啓発と、足病変の重症化予防とケア技術の普及・向上を目的とした「富山市民病院フットケアネットワーク」も同時に立ち上げました。地域連携と多職種によるチーム医療で、実際のフットケア現場での課題を共有し、その解決策を見出していくことを目指しています。

2) 症例検討

- (1) 第7病日に既に左冠動脈の有意な拡張を認めた川崎病の1例（仮）

紹介医：かみいち総合病院 小児科 齋藤和由先生

小児科 高崎麻美、橋本郁夫

- (2) ルキシソリチニブにて劇的な効果を認めたヒドロキシカルバミド抵抗性真性赤血球増加症

紹介医：つねだ内科医院 常田孝和先生

血液内科 寺崎 靖

予告

日時：平成29年11月14日（火）19：00～20：15

場所：当院3階 講堂

内容：①ミニレクチャー（担当）小児科 ②症例検討 2例（消化器内科・精神科）

2. 内科CPC

日時：10月10日（火）17：30～

場所：医局カンファレンス室

3. 緩和医療委員会 学習会

日時：10月10日（火）17：45～18：45

場所：看護外来

- テーマ：放射線療法を受けている人の看護
- 講師：放射線治療専従看護師 宮川 由香

4. 糖尿病研究会定例学習会

日時：10月12日（木）17：45～18：30

場所：看護外来

- テーマ：薬物療法について
- 講師：薬剤師 山田 麻利名

5. 感染予防対策学習会

※すべて内容は同じです。

日時：10月18日（水）①12：15～12：50

②17：30～18：05

10月26日（木）①14：00～14：35

②15：00～15：35

10月30日（月）①12：15～12：50

②17：30～18：05

場所：講堂

- テーマ：院内感染対策状況と感染対策の話題
- 講師：感染管理認定看護師 平野 規久

6. 接遇力向上講演会

日時：10月12日（木）17：30～19：00

（時間厳守）

場所：講堂

- テーマ：対人対応力向上のためのコミュニケーションスキルアップ研修
～具体的な事例からの検討：クレーム予防策～
- 講師：(株)C-plan
医療接遇アドバイザー 小山 美智子先生

7. NST学習会

日時：10月23日（月）17：30～19：00

場所：講堂

- テーマ：静脈栄養法について
（リフィーディング・脂肪乳剤）
- 講師：黒部市民病院医師 月岡 雄治先生

8. 医療機器研修会

日時：10月24日（火）17：45～18：15

場所：集団指導室

- テーマ：バルーンの拡張・収縮で心臓を補助する
『IABP』の基本を学ぼう
- 講師：臨床工学技士

9. 褥瘡対策学習会

日時：10月27日（金）17：45～19：00

場所：集団指導室

- テーマ：褥瘡とおむつの当て方
- 講師：皮膚・排泄ケア看護認定看護師 青木かずみ

10. 看護研修

《衛星研修S-QUE Eナース》

- (1) 日時：10月11日（水）17：30～18：30

場所：看護外来

- テーマ：看護マネジメントの基礎
～新人から持ちたい管理意識

- (2) 日時：10月25日（水）17：30～18：30

場所：看護外来

- テーマ：主任からのチームビルディングとリーダーシップ

《衛星研修S-QUE 新特別企画》

日時：10月6日（金）17：30～19：00

場所：看護外来

- テーマ：病院環境フォーラム'17
組織で取り組む！ 認知症ケア加算の
申請成功のために

薬剤耐性(AMR)対策には皆様の理解・協力が必要です

日本化学療法学会
抗菌化学療法認定薬剤師
加藤 由香里



薬剤耐性 (AMR) という言葉をご存知でしょうか。

抗菌薬が効きにくくなり、使用できる薬が限られた“耐性菌”が世界的に増加しており、我が国も例外ではなく、厚生労働省からはAMR対策の目標が掲げられ、その実施が求められています。耐性菌を増やさないようにするには、人を介して伝播させないことと抗菌薬をむやみに使用して耐性菌を発現させないことが重要です。

当院の感染防止対策室では、院内の耐性菌の監視、耐性菌の拡大を防止するための指導、抗菌薬の適正使用のための介入を、医師、看護師、薬剤師、検査技師がチームとなって行っています。そして、抗菌薬の適正使用のためにガイドラインを参考に院内の抗菌薬の使用指針を整備し、適切な薬剤を必要な場合に限り、適切な量・期間使用していただけるようチームで症例を見ながら提案を行っています。

AMR対策を行うのは医療従事者のみでなく皆様も同じです。抗菌薬が処方された際は自己判断で量・服用期間を調節したり、残った抗菌薬を自己判断で服用しないように心がけていただくだけでも、耐性菌の発生を抑えることができます。また、マスク・手洗いなど感染予防策も大切です。今後とも活動にご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

10月の休診日

内科		整形外科・関節再建外科	
清川	12日、16日	澤口	6日、13日、20日、24日
寺崎 敏	16日、19日、20日	岩井	12日、13日、20日
林	6日、11日	形成外科	
大田	19日、20日	置塩	19日、20日
寺崎 靖	27日	産婦人科	
清水	5日、6日	長谷川	20日、30日
山田	25日	大田	31日
多田	17日、19日	眼科	
外科・消化器外科・乳腺外科		山田	12日、13日
藤村	26日	藤井	2日
吉川	2日、3日	耳鼻いんこう科・頭頸部外科	
庄司	24日	辻	5日、6日、27日
呼吸器・血管外科		杉本	17日
瀬川	16日、17日	歯科口腔外科	
土岐	19日(午後)、20日	寺島	2日(午前)



作・病院ボランティア 篠崎佳子

※その他、急に不在となることがありますのでふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。

編集後記

8月26日、立山登山マラニックに当院から家城医師、加藤医師、八木の3名が出場しました。今年で第20回目となるこのレースは、朝4時に浜黒崎をスタートして、海拔0mから標高3,003mの雄山山頂を目指す大会です。(マラニックは、マラソン+ピクニックの造語とのことです) 今年も天候にも恵まれ、雄大な立山が私達を迎えてくれました。コース途中のボランティアの方々には本当に助けられました。何事も日々の努力の積み重ねであることと富山に生まれ育って良かったと感じた1日でした。

(ふれあい地域医療センター 八木 智矢)



「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076 (422) 1114 / FAX 076 (422) 1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ <http://www.tch.toyama.toyama.jp/> がん・なんでも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp